

2018 年度「研究者の横顔」 佐藤 和秀先生

1. 研究者になろうとしたきっかけ

臨床医として、目の前のがん患者さんを完治させることができず、外から与えられた決められた治療(従前のガイドラインがん治療)をこえ、新しい治療法や検査法をクリエイトし患者さんに還元させていただくことができると想い、研究しております。

2. 助成研究の内容紹介

悪性中皮腫は治療法がかなり限られ、新規治療法の開発が待たれます。私は、従来の研究とは違った観点から光を用いた新治療法の開発に挑みます。

3. 2の将来に繋がる結果予想・目標

悪性中皮腫の新規治療法の一つとして実現。

4. 全国の RFL 関係者に一言

この度は 2018RFLJ の「プロジェクト未来」の研究助成に採用していただき、心より御礼申し上げます。新規治療に結びつくようがんばります。